

## 糸満市立糸満小学校 第3回学校運営協議会 報告書

1 開催日時 令和5年3月7日（火） 18:30～19:30

2 場 所 図書室

3 参加者 11名

### 4 会議内容

- (1)今年度の学校経営の成果と課題及び改善策次年度の学校経営について
- (2)学校関係者評価について
- (3)創立140周年記念事業について
- (4)協議

### 5 熟議内容

#### (1) 前回の熟議の報告

- ①東側フェンス設置の工事の完了と今後の使用法について
- ②140周年記念事業の進捗状況について

#### (2) 今回の熟議のテーマ

- ①学校関係者評価について

#### (3) 話し合った内容 「学校関係者評価」について

- ①教育目標「おもしろいのある子」の取組の成果と課題、改善方策について

◇学力に不安がある子に対して個別指導を行っているか？

- ・放課後や、給食準備時間や昼休み等のすき間時間に行っている。朝の糸小タイムではクロムブックを活用したタブレットドリルやキュービナ、また担外の職員が学級でのドリル学習のサポートを行っている。

◇コロナ禍に影響で学力に不安を感じる児童への改善策として、「タブレットドリルやキュービナを活用して『個別最適な学び』を学習内容の定着を図る」とある文言は、「～学習内容の定着を図ることで、安心して登校できる。」という表現にした方が分かりやすい。

◇学校内での児童の善行の様子や、校外のコンクールや大会の様子をタブレット等を活用し見える化し、児童や保護者、地域に発信することにより称賛される場を設定することで、自己肯定感を高め児童の主体的な行動に繋げてみてはどうだろうか。

- ②教育目標「自らすすんで学ぶ子」の取組と成果と課題、改善策について

◇毎日タブレットは家に持たしているか？

- ・学年によっては毎日持たして、家庭学習を授業と連動したタブレットドリル等で行っている学年がある。ペーパーレス化により、経費の削減にもなっている。キュビナは中学校までの学習ができ、進度の速い子は次の学年の課題を行っている。

◇タブレット等のICT機器の活用は今後とも継続し、大学教授や県の義務教育課と連携し、専門家の方を招いた授業研究会についても続け、授業改善に取り組んで欲しい。

③教育目標「たくましい子」の取組の成果と課題、改善方策について

◇体力テストの2極化は仕方がない部分もあるが、運動が苦手な子でも取り組みやすい継続的な運動（縄跳びや持久走等）で目標を設定し、取り組ませてはどうだろうか。

◇運動や健康にはバランスの良い食事も必要なので、食育の取組は今後も続けた方がよい。

6 次回予定 令和5年 5月